

BR 800

***STIHL***



2 - 21      取扱説明書



## 目次

1	はじめに.....	2
2	使用上の注意および作業方法.....	2
3	運転準備.....	6
4	スロットルケーブルの調整.....	9
5	ハーネスの取付け.....	9
6	燃料.....	10
7	給油.....	11
8	冬季作業.....	11
9	始動前の注意事項.....	12
10	エンジンの始動と停止.....	12
11	作業中の注意事項.....	15
12	エアフィルターの交換.....	15
13	キャブレターの調整.....	15
14	スパークプラグ.....	16
15	機械の保管.....	16
16	スチール販売店による点検と保守.....	17
17	整備表.....	17
18	磨耗の低減と損傷の回避.....	18
19	主要構成部品.....	19
20	技術仕様.....	19
21	整備と修理.....	20
22	廃棄.....	20
23	EC 適合証明書.....	20
24	UKCA 適合宣言.....	21


## お客様各位

この度は STIHL 社の製品をお買上げいただきまして誠に有難うございます。

この製品は、最新の製造技術と入念な品質保証処置を施して製造されました。私共は、お客様がこの製品を支障なく使用され、その性能に満足していただくために最善の努力を尽くす所存であります。

本製品に関してご不明な点がございましたら、お買上げの販売店または当社カスタマーサービスにお問い合わせください。

## 敬具



Dr. Nikolas Stihl

## 1 はじめに

## 1.1 シンボル マークについて

機械に表示されているシンボルマークの意味は、本取扱説明書に説明されています。

対象の機種によっては、以下のシンボル マークが機械に表示されている場合があります。



燃料タンク、ガソリンとエンジン オイルの混合燃料



インテーク エア：冬季作業



インテーク エア：夏季作業



手動燃料バージャーポンプの操作

## 1.2 段落の前に付いたシンボルや数字



## 警告

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

## 注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

## 1.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

このため、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

## 2 使用上の注意および作業方法



パワーツールを使用する時は、特別な安全上の注意事項を遵守してください。



初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要に応じて参照できるよう安全な場所に保管してください。取扱説明書を遵守しないと、重傷または致命傷さえも負うことがあります。

現地の安全規制、基準、条例をすべて遵守してください。

このモデルを初めて使用する人は：サービス店または他の経験豊富なユーザーに機械の操作方法を教わるか、使用法に関する専門研修に参加してください。

未成年者には絶対に本製品を使用させないでください。

作業エリアに見物人（特に子供）や動物を近づけないでください。

パワーツールを使用していないときは、他人に危険が及ばない場所に置いてください。無断で使用されないよう機械を固定してください。

第三者の負傷やその所有物の損壊を防止することは、使用者の責任です。

パワーツールを貸与したり、譲渡したりする場合は、取扱説明書を一緒に手渡してください。パワーツールの使用者が本取扱説明書の内容を理解しているか確認してください。

騒音を発する機械の使用が、国や地域の規則によって特定の時間帯に制限されている場合があります。

構成部品が損傷している場合は、パワーツールを使用しないでください。

パワーツールの清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流でパワーツールの部品が損傷するおそれがあります。

## 2.1 アクセサリーおよび交換部品

STIHL 社が本パワーツールに使用することを明確に承認したか、同等の仕様に基いた部品とアクセサリだけを使用してください。ご不明な点は、サービス店にお問い合わせください。事故や本機の損傷を防ぐために、高品質の部品とアクセサリのみを使用してください。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。そうした純正品は製品に適合し、お客様の性能要件を満たすように特別に設計されています。

いかなる方法であれ、絶対に本機を改造しないでください。負傷する危険性が高まるおそれがあります。STIHL 社は、承認されていないアタッチメントを使用した際のケガや物的損害に対して一切法的責任を負いません。

## 2.2 身体的条件

本パワーツールの使用者は、十分に休息をとり、身体的、精神的に健康でなければなりません。

激しい労働に耐えられない体調の方は、パワーツールの使用前にかかりつけ医に相談してください。

ペースメーカーを着用している方のみ該当する注意点：本パワーツールのイグニッションシステムは、微弱な電磁界を発生します。その電磁界がペースメーカーに干渉する場合があります。健康面でのリスクを低減するため、STIHL 社ではペースメーカー着用者には、かかりつけ医またはペースメーカーの製造元に相談してからパワーツールを使用することをお勧めしています。

視力を低下させたり、動作や判断を鈍らせたりするおそれがある物（薬物、アルコール）を服用した状態では、パワーツールを使用しないでください。

## 2.3 用途

ブローワーは、庭、スポーツスタジアム、駐車場、道路等に散在する葉、草、紙等の異物を噴気で掃除する目的用に設計されています。森林の小道を掃除する目的にも適しています。

噴気で危険物を掃除しないでください。

事故が発生し、機械が損傷する危険が増すため、本機を本来の目的以外には使用しないでください。事故が起きたり、製品が損傷したりするおそれがあるため、製品には絶対にいかなる改造も行わないでください。

## 2.4 衣服と装備

適切な防護服と装備を身に付けてください。



丈夫な素材で、身体の動きを一切制限しない衣服を着用してください。作業用のコートではなく、身体にぴったりしたオーバーオールと上着を組み合わせた安全作業服を着用してください。



緩い引き紐、レース、リボン、スカーフ、ネクタイ、装身具等の機械側面や下部の吸気口に吸い込まれるおそれがある物は身に付けないでください。機械に吸い込まれないよう、長髪は結び、まとめてください。

靴底が滑らず、頑強な作りの靴を履いてください。



**警告**



目を負傷する危険を低減するために、European Standard(欧州基準) EN 166 に準拠した、確実にフィットする保護メガネを着用してください。保護メガネが快適にぴったりとフィットしていることを確認してください。

イヤープロテクター（耳栓やイヤーマフ）を着用してください。

STIHL 社では、さまざまな防護服と防護装備を取り揃えております。

## 2.5 パワーツールの運搬

必ずエンジンを切ってください。

車両輸送：

- 倒れたり、燃料が漏れ出したり、損傷したりしないよう、パワーツールを適切に固定してください。

## 2.6 燃料の給油



ガソリンは可燃性が極めて高い燃料です。火気を避けてください。燃料をこぼさないでください - 喫煙しないでください。

必ずエンジンを切ってから給油してください。

エンジンが高温のときは給油しないでください - 燃料がこぼれ、火災が生じる危険があります。

必ずパワーツールを背中から地面に降ろしてから給油してください。必ず本機を地面に立てた状態で給油してください。

燃料が噴き出さないようタンク内の高圧を徐々に抜くように、燃料キャップは慎重に開けてください。

給油は換気の良い場所で行ってください。燃料が本機にこぼれた場合は必ず拭き取ってください - 衣服に付いた場合は直ちに着替えてください。



漏れがないか点検します。火傷により重傷または致命傷を負う危険を低減するために、漏れを修理するまではエンジンの始動や運転を行わないでください。

### スクリュー式燃料キャップ



給油後は、スクリュー式燃料キャップをできるだけしっかりと閉めてください。

それにより、機械の振動によって燃料タンクキャップが緩むか外れ、燃料が漏れ出す危険を低減できます。

## 2.7 始動前

パワーツールが正しく組み立てられ、正常な状態になっているか点検します - 本取扱説明書の関連項目を参照してください。

- 燃料システムに漏れがないか点検します。特にタンクキャップ、ホース接続部、手動燃料ポンプ (装着モデルのみ) 等の目視が可能な部品に注意してください。漏れや損傷がある場合は、エンジンを始動しないでください - **火災が起きるおそれがあります**。サービス店で機械を修理してから再使用してください。
- スロットルトリガーはスムーズに作動し、放すとアイドル位置に戻らなければなりません。
- 正常な調整レバーは、容易に **STOP** または **0** に移動できなければなりません。
- ブロワーチューブは、適切に取り付ける必要があります。
- パワーツールを安全に操作するために、ハンドルは乾いた清潔な状態 - オイルや汚れのない状態 - に保ちます。

- スパークプラグターミナルが確実に差し込まれているか点検します - 緩んでいると放電が起り、漏れた混合気に引火し、**火災が生じるおそれがあります**。
- 操作部と安全装置は絶対に改造しないでください。
- ブロワーハウジングの状態を確認します。
- ハーネスストラップおよびバックパックの状態を確認します - ストラップに損傷または摩耗がある場合は交換してください。

ブロワーハウジングに摩耗 (亀裂、傷、切り欠き) が生じていると、異物が飛散してケガをする危険が高まる場合があります。ブロワーハウジングが損傷したときは、サービス店にご相談ください - STIHL 社では、STIHL サービス店にお問い合わせいただくことをお勧めしております。

**事故が生じる危険を低減するために**、パワーツールは安全に操作できる状態のときだけ使用してください。

緊急時: 腰ベルトの留め具を外し、肩掛けベルトを緩め、本機を背中から下ろす動作を迅速にできるよう練習してください。

## 2.8 エンジンの始動

給油場所から 3 m 以上離れた場所でエンジンを始動します。屋外に限ります。

本パワーツールは、一人で操作するように設計されています。作業場所には、始動時であっても第三者を入れないでください。

エンジンの落としがけをしないでください - 取扱説明書に従って始動してください。

パワーツールを平坦な地面に置き、足場が安定していることを確認し、パワーツールをしっかりと保持します。

エンジンが始動するとすぐに、細かい異物 (石等) が操作者の方向に吹き付けられることがあります。

## 2.9 使用中

危険が差し迫っているときや緊急時は、調整レバーを **STOP** または **0** に動かし、速やかにエンジンを切ってください。



**飛散物によりケガをしないよう**、作業員以外が半径 15m 以内に立ち入らないようにしてください。

**物的損害が生じる危険を低減するために**、他の物体 (車両、窓) から上記の距離を維持してください。



絶対にブロワーの吹き出し口を人や動物に向けないでください。ブロワーから小さな物体が高速で飛散する危険があります。ケガをする危険があります。

ブロワーを使用した(空地や庭の)清掃中は、小動物に害を及ぼさないよう注意してください。

作動させたまま絶対に本機から離れないでください。

滑りやすい場所 - 濡れた地面、雪や氷で覆われた面、傾斜地や凹凸のある面 - では、特に注意してください。

障害物に注意：廃棄物、切り株、根、溝等のつまずきそうな障害物に注意してください。

はしごや他の不安定な足場上では、絶対に作業しないでください。

イヤープロテクターを着用している場合は、危険を告げる声(呼び声、警笛等)が聞こえにくくなるため、通常よりもさらに注意が必要です。

日中に十分な視界のある場所で、冷静かつ慎重に作業を行ってください。他人に危険が及ばないよう注意を怠らないでください。

**事故が生じる危険を低減するために、疲労が蓄積しないように、適切な時期に休憩をとってください。**



エンジン運転中は機械から**有毒な排気ガス**が発生します。排気ガスは無色無臭で、未燃焼の炭化水素とベンゼンを含んでいることがあります。屋内や換気状態の悪い場所では、絶対にエンジンをかけないでください。触媒コンバータが装着されている機種でも同様です。

**有毒ガスを吸い込んで重傷または致命傷を負う危険を低減するために**、溝、くぼ地、他の狭い場所での作業時は、適切に換気してください。

**事故が生じる危険を低減するために**、吐き気、頭痛、視覚障害(視野狭窄等)、聴覚障害、めまい、注意散漫の症状が生じた場合は、直ちに作業を中止してください。これらの症状は、作業エリアに極めて高濃度の排気ガスが存在する場合にも現れることがあります。

**火災の危険性がありますので**、作業中および機械の近くでは喫煙は避けてください。燃料システムから可燃性の気化燃料が漏れ出すおそれがある点にご注意ください。

塵埃の発生量が非常に多い場合、必ず防塵マスクを着用してください。

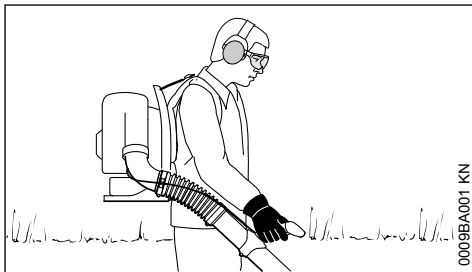
機械は、騒音と排気ガスの発生が最小限になるように操作してください - 不必要にエンジンをふ

かさず、作業時のみエンジンを加速してください。

作業完了後は、可燃物のない平らな面に本機を置きます。**火災の危険を低減するために**、燃えやすい物(木片、木皮、枯草、燃料等)の近くに本機を置かないでください。

パワーツールに設計強度を超える異常な負荷が加わった(強い衝撃が加わるか、落下した)場合、必ずパワーツールが正常かどうか点検してから作業を続けてください(「作業開始前」を参照)。特に燃料システムが漏れていないか点検し、安全装置が正常に作動しているか確認してください。お使いのパワーツールに損傷がある場合は、作業を続けしないでください。不確かな場合は、サービス店にお問い合わせください。

## 2.10 ブロワーの使用



本機は背負い式です。コントロールハンドルを右手で握ってブロワーチューブを保持し、操作します。

作業時はゆっくりと前進し、常にノズル吹き出し口に注意を払い、後ずさりはしないでください - **つまずくおそれがあります。**

必ずエンジンを切ってから本機を背中から降ろしてください。

## 2.11 作業方法

清掃時間を短縮するために、清掃作業を開始する前に、熊手や箒でゴミを除去しやすくしておきます。

- 必要に応じて、掃除する範囲の表面に水を撒き、埃が立ちすぎないようにします。
- 見物人(特に子ども)、ベット、開いている窓、洗車したばかりの自動車の方向にゴミを吹付けないようにしてください。それらの状況では、特に注意してください。
- 吹き寄せたゴミは、ゴミ箱に捨てます - 隣人の敷地に吹き出したりしないでください。
- 本機は、他の人に迷惑がかかることのある早朝、深夜、昼食休憩時間などを避け、道理にか



なった時間帯にご使用ください。地域の休憩間隔に関する規制を順守してください。

- 作業実施に必要な最低限度のエンジン回転数で、ブローアをご使用ください。
- 作業開始前にお使いのブローアの状態を点検します。特にマフラー、エアー インテークおよびエアー フィルターに注意してください。

## 2.12 振動

パワーツールを長時間使用した場合には、振動の影響により手の血行不良が生じることがあります(「白ろう病」)。

以下をはじめ、多くの事柄が影響するため、一般的な使用時間の設定は不可能です。

以下の対策をとると使用時間を延長できます：

- 常に手を温めておく
- 休憩を取りながら作業する

以下の場合には使用時間を短くします：

- 血行不良の特殊体質(症状：指がよく冷たくなる、しびれ)。
- 低い外気温。
- 握む力の強さ(強く握りしめると、血行が低下します)。

機械を定期的に長時間使用したり、該当する症状(指のしびれ等)が繰り返し発症する時は、医師による診断をお薦めします。上記のいずれかの症状が現れたら(指が疼くなど)、医師にご相談ください。

## 2.13 整備と修理

定期的に本機を整備してください。取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業はスチール サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して、不明な方はスチール サービス店へお問い合わせください。

当社ではスチール純正交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

ケガの危険を回避するために、本機の保守、修理、または掃除を実行する前に、**エンジンを必ず切ってください**。- 例外：キャブレター及びアイドリング回転数の調整時は例外です。

スパークプラグターミナルまたはスパークプラグを外した状態で、スターターを作動しないでください。火花を抑制できずに**火災が発生する可能性があります**。

火気の近くで、本機を整備したり、保管しないでください。

燃料フィルター キャップにもれがないか定期的に点検してください。

当社で承認されたタイプで、支障なく作動するスパークプラグだけを使用してください(「技術仕様」の項を参照)。

イグニッション ケーブルに異常がないこと(良好な絶縁状態、接続の確実性)を確認してください。

マフラーに異常が無いことを確認してください。

**火災の危険や聴覚障害**を避けるために、破損したマフラーを取付けたまま、あるいはマフラーがないまま作業しないでください。

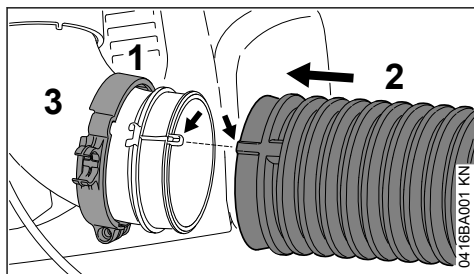
高温のマフラーに触れて、**火傷**しないようにしてください。

振動の強さは、防振部品の状況に左右されます - 定期的に防振部品を点検してください。

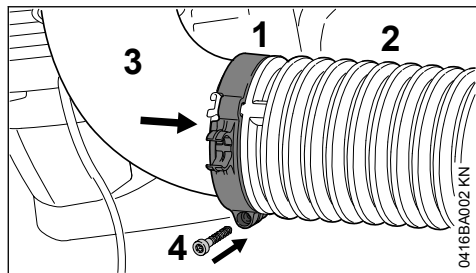
問題を解消しようとする前に、エンジンを停止してください。

## 3 運転準備

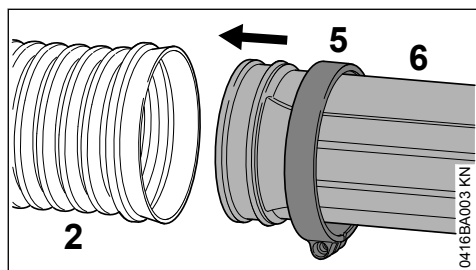
### 3.1 ホースクランプおよび蛇腹ホースの取り付け



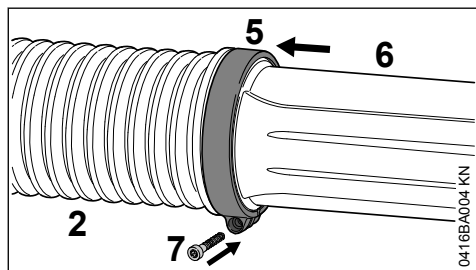
- ▶ ホースクランプ (1) (スロットルケーブルのリテーナー付き) を押してエルボー (3) にかぶせます。
- ▶ 蛇腹ホース (2) を押してエルボー (3) にかぶせます。



- ▶ ホースクランプ (1) を押して蛇腹ホース (2) にかぶせます - スクリューボスを下向きにしてください。
- ▶ ホースクランプ (1) をスクリュー (4) で固定します。

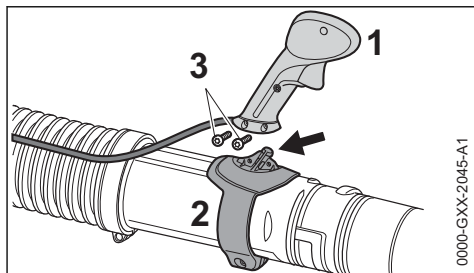


- ▶ ホースクランプ (5) (スロットルケーブルのリテーナーなし) を押してブローチューブ (6) にかぶせます。
- ▶ ブローチューブ (6) を蛇腹ホース口 (2) の中に押し込みます。

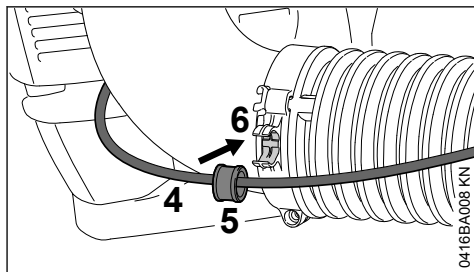


- ▶ ホースクランプ (5) を押して蛇腹ホース (2) にかぶせます。
- ▶ ホースクランプ (5) とブローチューブ (6) を図の位置に合わせます。
- ▶ ホースクランプ (5) をスクリュー (7) で固定します。

### 3.2 コントロールハンドルの取り付け

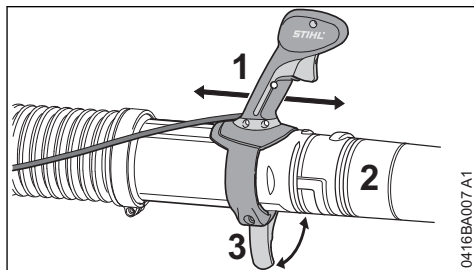


- ▶ コントロールハンドル (1) をマウント (2) に押し込みます。
- ▶ スクリュー (3) を差し込み、しっかりと締め付けます。



- ▶ スロットルケーブル口 (4) をスリーブ (5) に通してリテーナー口 (6) にかみ合わせます。

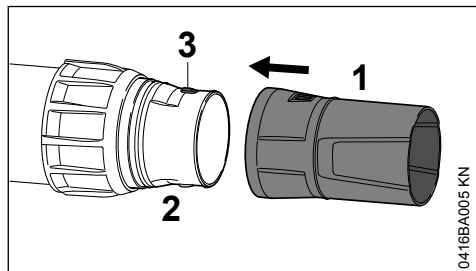
### 3.3 コントロールハンドルの調整



- ▶ クランピングレバー (3) を開きます。
- ▶ コントロールハンドル (1) をブローチューブ (2) に沿って移動させ、最も使いやすい位置に合わせます。
- ▶ クランピングレバー (3) を閉めます。

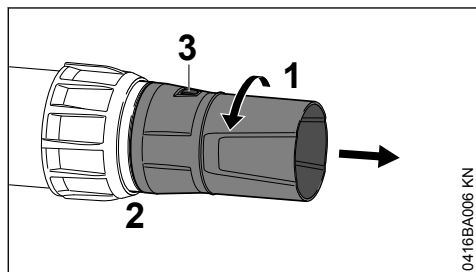
### 3.4 ノズルの取り付け、調整、取り外し

#### 3.4.1 ノズルの取り付け



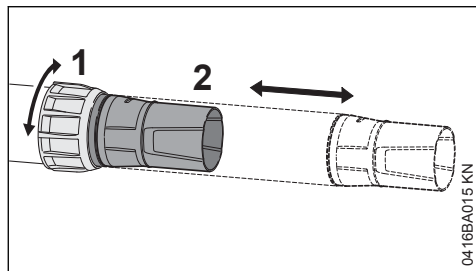
- ▶ ノズル (1) を押してブロワーチューブ (2) にかぶせ、突起部 (3) にかみ合わせます。

#### 3.4.2 ノズルの取り外し



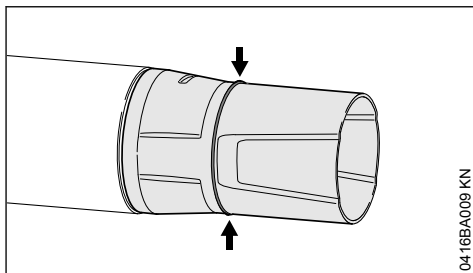
- ▶ 突起部 (3) が隠れるまでノズル (1) を矢印の方向に回します。
- ▶ ノズル (1) をブロワーチューブ (2) から引き抜きます。

### 3.5 ブロワーチューブの調節



- ▶ ユニオンナット (1) を緩めます。
- ▶ ブロワーチューブ (2) を必要な長さまで引き出します。
- ▶ ユニオンナット (1) を締め付けます。

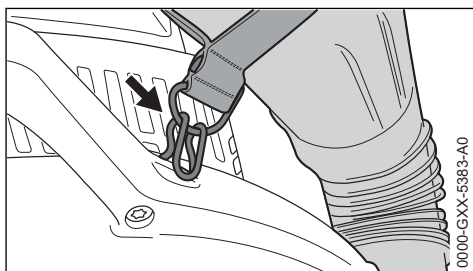
### 3.6 ノズルの摩耗マーク



ノズルの前端は、使用中に地面と摩擦接触して摩耗します。ノズルには通常使用による摩耗は避けられません。摩耗マークに達したときは、交換する必要があります。

### 3.7 運搬時の注意

ブロワーチューブは、保管や輸送のためにブロワーハウジングに掛けることができます。



- ▶ Dリングをブロワーハウジングのフックに引っ掛けます。



**警告**

ブロワーチューブをフックに掛けたままエンジンを始動すると、噴気やほこりの粒子がユーザーの顔面や眼に吹き付けられることがあります。

- ▶ ブロワーチューブをフックから外してからエンジンを始動してください。

#### 注記

衣服や他の物をフックに掛けると、吸気口が塞がれ、エンジンがオーバーヒートすることがあります。

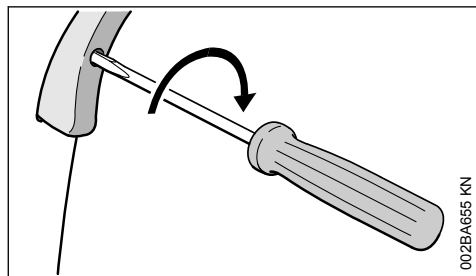
- ▶ フックは、保管や輸送用にブロワーチューブを掛ける目的以外には使用しないでください。
- ▶ 衣服や他の物をフックに掛けないでください。



## 4 スロットルケーブルの調整

本機の組み立ておよび長期間の運転後に、スロットルケーブルの調整を修正することが必要になる場合があります。

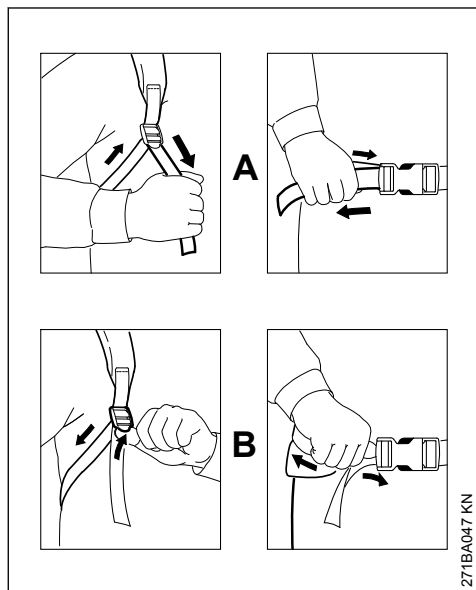
本機が完全に適正に組み立てられた後に、スロットルケーブルを調整してください。



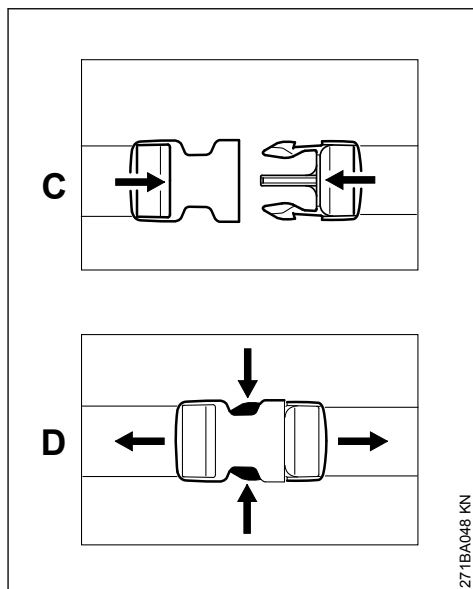
- ▶ スロットルトリガーをフルスロットル位置に設定します。
- ▶ スロットルトリガーのスクリーを、最初に手ごたえを感じるまで慎重に矢印の方向に回します。さらに同じ方向に半回転回します。

## 5 ハーネスの取付け

### 5.1 ハーネスの調整

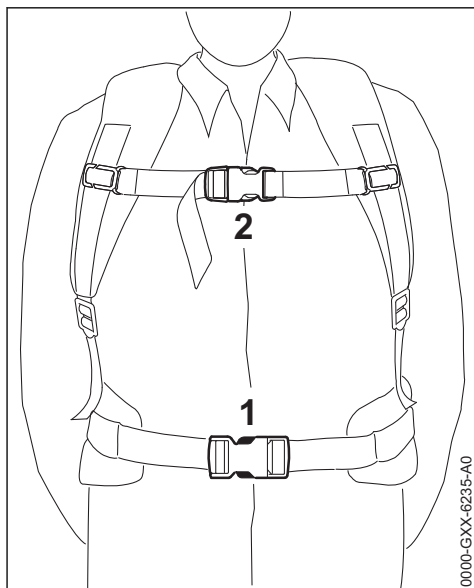


- A ストラップを引いて、ハーネスを締め付けます。
- B アジャスターのタブを持ち上げ、ストラップを緩めます。



- C 両方の部品を押し、バックルを留めます。
- D 両方のフックを強く押し、バックルを外します。

### 5.2 ハーネスの取付け



- ▶ ブロワーを背負います。

- ▶ ウエストストラップ (1) のバックルを留めます。
- ▶ チェストストラップ (2) のバックルを留めます。
- ▶ ウエストストラップが腰にたるみなく接触し、バックプレートが背中に密着するようになるまでストラップを締め付けます。

### 5.3 ハーネスの取外し

- ▶ ストラップを緩めます。
- ▶ チェストストラップとウエストストラップのバックルを外します。
- ▶ ブロワーを背中から降ろします。

## 6 燃料

エンジンには、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料が必要です。



警告

燃料に直接触れたり、ガソリンの気化ガスを吸い込んだりしないよう注意してください。

### 6.1 STIHL MotoMix (モトミックス)

STIHL 社では、STIHL MotoMix の使用をお勧めしています。このあらかじめ混合された燃料はベンゼンや鉛を含まず、高オクタン価を特徴とし、常に適切な混合比をもたらします。

STIHL MotoMix には、エンジン寿命を最長化するために STIHL HP Ultra 2 ストロークエンジンオイルが使用されています。

MotoMix は、販売されていない市場もあります。

### 6.2 燃料の混合

#### 注記

仕様と異なる不適切な燃料や混合比を用いると、エンジンに重度の損傷が生じるおそれがあります。低品質のガソリンやエンジンオイルは、エンジン、ガasket、燃料ライン、燃料タンクを損傷させることがあります。

#### 6.2.1 ガソリン

オクタン価が 90 以上の**高品質ガソリン**だけを使用してください。無鉛、有鉛は問いません。

アルコール濃度が 10% を超えるガソリンは、手動調整可能キャブレター付きエンジンではエンジン性能を低下させるおそれがあるため、そうしたエンジンには使用しないでください。

M-Tronic 搭載エンジンは、アルコール濃度が 27% までのガソリン (E27) を使用して本来の性能を発揮します。

#### 6.2.2 エンジンオイル

ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 2 ストロークエンジンオイルまたは JASO FB、JASO FC、JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC あるいは ISO-L-EGD に準拠する他の高性能エンジンオイルを使用してください。

機械が寿命に達するまでの全期間で排ガス基準が満たされるよう、STIHL 社では STIHL HP Ultra (ウルトラ) 2 ストロークエンジンオイルまたは同等の高性能エンジンオイルの使用を指定しています。

#### 6.2.3 混合比率

1:50 の比率で STIHL 2 ストロークエンジン オイルとガソリンを混合してください (オイル 1 に対してガソリン 50)。

#### 6.2.4 例

ガソリン量	STIHL 2 ストロークエンジンオイル 1:50
リットル	リットル (ml)
1	0.02 (20)
5	0.10 (100)
10	0.20 (200)
15	0.30 (300)
20	0.40 (400)
25	0.50 (500)

- ▶ 承認されている安全な燃料容器にオイルを注入してからガソリンを加え、完全に混ぜ合わせます。

### 6.3 混合燃料の保管

燃料は承認されている安全な燃料容器に入れ、乾燥して涼しく、安全な、照明や太陽光から保護された場所に保管します。

**混合燃料は時の経過に伴って劣化します** - 数週間分の必要量だけを混合してください。混合燃料は 30 日以上保管しないでください。照明、太陽光、低温、高温にさらすと、混合燃料はより短時間で使用できなくなることがあります。

STIHL MotoMix は、問題なく最長 5 年間保管することができます。

- ▶ 混合燃料が入った容器 (携行缶) をよく振ってから給油してください。



警告

携行缶の内圧が高まっている可能性があるため、キャップは慎重に開けてください。

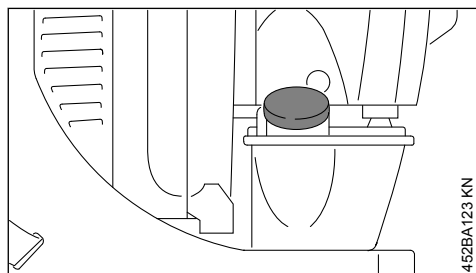
- ▶ 混合燃料を保管する燃料タンクや容器は、ときどき徹底的に清掃してください。

残存する燃料や清掃に使用した液体は、規制に従って環境に害を及ぼさないように廃棄してください!

## 7 給油



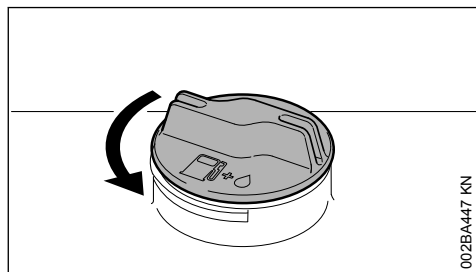
### 7.1 準備



452BA123 KN

- ▶ 給油する前に、汚れがタンクの中に入るのを防ぐため、フィラー キャップとその周りをきれいにしてください。

### 7.2 スクリュータイプのタンク キャップを開ける



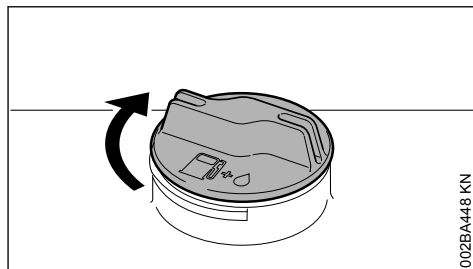
002BA447 KN

- ▶ キャップを反時計回りに、キャップをタンクの開口部から外すことができるまで回します。
- ▶ キャップを外します。

### 7.3 燃料の補填

給油の際には燃料をこぼしたり、あふれさせないでください。当社ではスチール フィラー ノズル（特殊アクセサリ）の使用をお勧めします。

### 7.4 スクリュータイプのタンク キャップを閉める



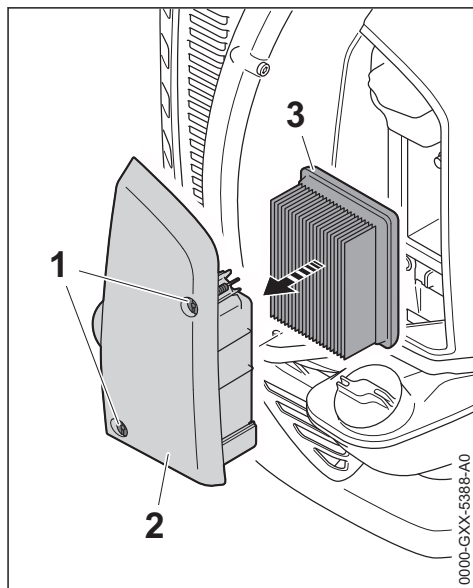
002BA448 KN

- ▶ 開口部にキャップを置きます。
- ▶ キャップを時計回りに、止まるまで回します。手でできる限りしっかりと締め付けます。

## 8 冬季作業

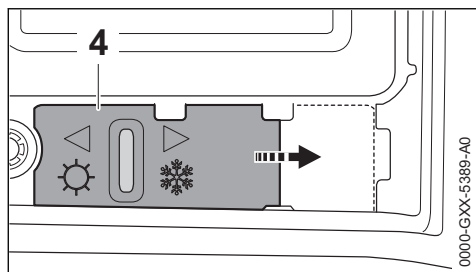


### 8.1 気温が +10°C 以下の場合



0000-CXX-5388-A0

- ▶ スクリュー (1) を緩めます。
- ▶ フィルターカバー (2) をエアフィルター (3) と共に取り外します。



- ▶ シャッター (4) を右側 ❄️ (冬季用) の位置へ動かします。
- ▶ フィルターカバー (2) をエアフィルター (3) と共に位置決めします。
- ▶ スクリュー (1) を差し込み、しっかりと締め付けます。

## 8.2 気温が +20°C 以上の場合

- ▶ シャッター (4) を左側 ☀️ (夏季用) の位置へ動かします。

### 注記

気温が 20°C 以上のときにシャッター (4) を ☀️ の位置に合わせないと、オーバーヒートによってエンジンが不調になるおそれがあります。

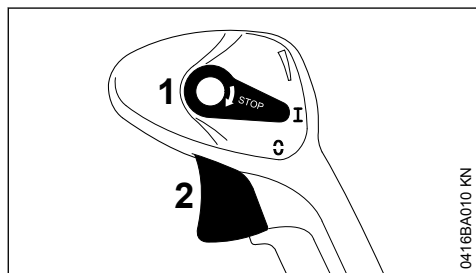
## 9 始動前の注意事項

### 注記

エンジンを停止し、始動させる前に以下のパーツを点検して、必要に応じて清掃を行ってください：

- ベースプレート
- バックプレートとエンジン間のインテークスクリーン

## 9.1 調整レバーの位置



1 調整レバー

2 スロットルトリガー

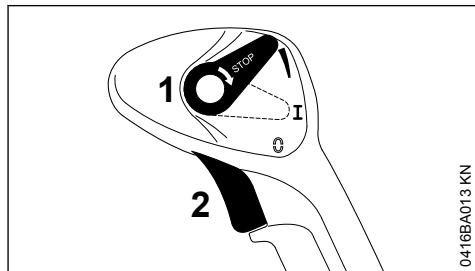
### 「I」位置

エンジン運転中または始動可能です。スロットルトリガー(2)は、任意の位置に動かすことができます。

### 「0」位置

イグニッションが中断され、エンジンが停止します。調整レバー (1) は、この位置ではロックされません。レバーが「I」位置に戻ります。イグニッションは再度オンになります。

### 固定スロットル



スロットルトリガー (2) は、任意の位置でロックできます。

ロックの解除方法：

- ▶ 調整レバー (1) を I の位置に戻します。

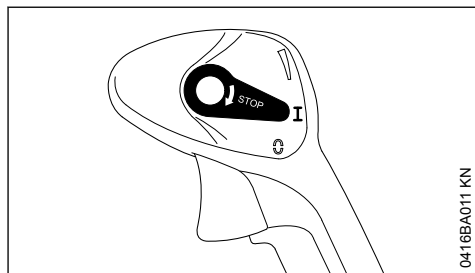
## 10 エンジンの始動と停止

### 10.1 エンジンの始動

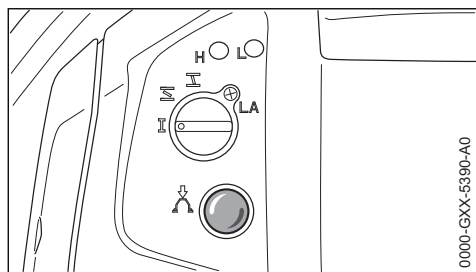
- ▶ 安全上の注意事項を順守してください。

### 注記

ほこりを吸引しないように、表面が清潔でほこりのない場所で本機を始動します。



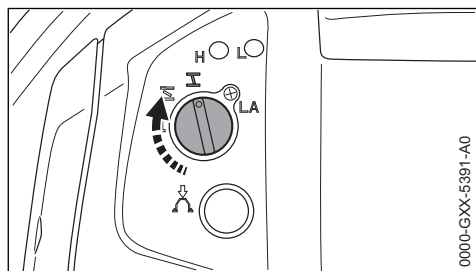
- ▶ 調整レバーを I の位置に動かします。



0000-GXX-5390-A0

- ▶ 燃料ポンプを最低 6 回押してください - ポンプにすでに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。

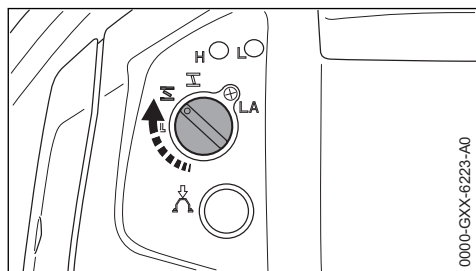
### 10.1.1 冷機エンジン (冷機スタート)



0000-GXX-5391-A0

- ▶ チョークノブを **I** の位置に動かします。

### 10.1.2 暖機エンジン (暖機スタート)

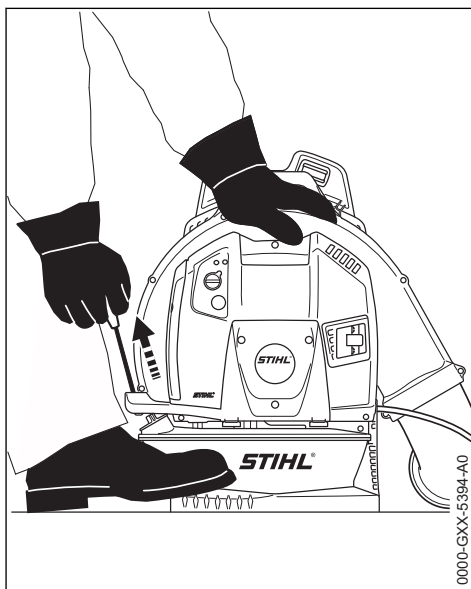


0000-GXX-6223-A0

- ▶ チョークノブを **LA** の位置に動かします。

エンジン始動後、完全に暖機されていない場合もこの位置を使用します。

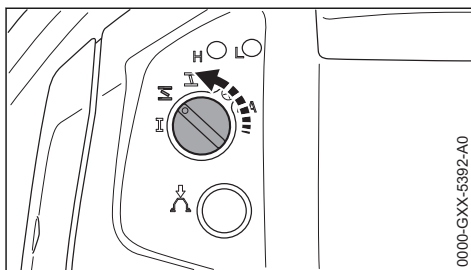
## 10.1.3 始動操作



0000-GXX-5394-A0

- ▶ 本機を地面にしっかりと置き、ノズル吐出口の方向に誰もいないことを確認します。
- ▶ ブローチューブをブローハウジングのフック (輸送用の位置) から外します。
- ▶ 安定した足場を保ちます: 本機のハウジングを左手で確実に押さえ、片足をベースプレートに乗せて滑らないようにします。
- ▶ スタータグリップを右手で均一な力で素早く引きます。スターターロープは最後まで引き出さないでください - **切れるおそれがあります。**
- ▶ スタータグリップを急に放さないでください。手を添えてハウジング内にゆっくりと戻すと、スターターロープは適切に巻き込まれます。
- ▶ エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

### 10.1.4 エンジンが初爆したら



0000-GXX-5392-A0

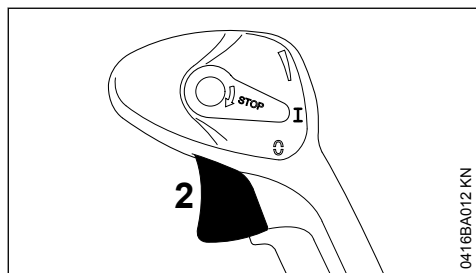
エンジンが **冷えている** 場合 :

- ▶ チョークノブを **Ⅱ** の位置に動かし、エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

エンジンが **暖まっている場合**：

- ▶ エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

## 10.2 エンジンがかかったらすぐに



- ▶ スロットルトリガー (2) を軽く引きます - チョークノブが自動的に **I** の位置に戻ります。

または

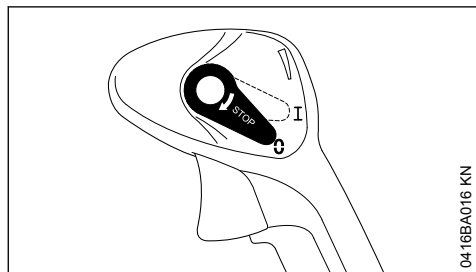
- ▶ チョークノブを **I** の位置に動かしします。

エンジンはアイドリング回転になります。

### 10.2.1 外気温が極めて低いとき

- ▶ ストールする間隙までエンジンを冷機スタート位置 **Ⅰ** で運転します。
- ▶ 冷機スタート位置 **Ⅰ** でエンジンがストールした場合は、チョークノブを **Ⅱ** の位置に合わせ、エンジンを再始動します。

## 10.3 エンジンの停止



- ▶ 調整レバーを **0** の方向に押します - エンジンが停止し、調整レバーが自動的に元の位置に戻ります。

## 10.4 短時間の休憩後

運転後にエンジンを切った場合は、短時間の休憩後、ブローワーを背負ったままエンジンを再始動することができます。

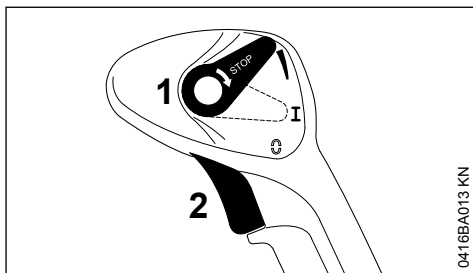


- ▶ 本機を背負った状態で、ノズル吐出口の方向に人がいないことを確認します。
- ▶ 足場が安全で、安定しているか確認します。
- ▶ ブローワーチューブのコントロールハンドルを右手で握ります。
- ▶ スターターグリップを左手で均一な力で素早く引きます。スターターロープは最後まで引き出さないでください - **切れるおそれがあります。**
- ▶ スターターグリップを急に放さないでください。手を添えてハウジング内にゆっくりと戻すと、スターターロープは適切に巻き込まれます。
- ▶ エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

## 10.5 エンジンが始動しない場合

### 10.5.1 チョークノブ

エンジンが初爆した直後にチョークノブを **Ⅱ** の位置に動かさないと、燃焼室内に過剰な燃料が吸い込まれます。





- ▶ 調整レバー (1) を押し上げます。スロットルトリガー (2) がフルスロットルの位置にロックされます。
- ▶ エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

### 10.5.2 始動に関するその他の注意事項

#### エンジンがかからない場合

- ▶ すべての設定が正しいか確認します。
- ▶ 燃料タンク内に燃料があるか確認し、必要に応じて給油します。
- ▶ スパークプラグターミナルが適正に接続されているか確認します。
- ▶ 始動手順を繰り返します。
- ▶ スロットルケーブルが適切に調整されているか点検します - 「スロットルケーブルの調整」の章を参照してください。

#### エンジンが冷機スタート位置 **Ⅰ** または加速時にストールする場合

- ▶ チョークノブを **Ⅱ** の位置に動かし、エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

#### エンジンが暖機スタート位置 **Ⅲ** で適切に始動しない

- ▶ チョークノブを **Ⅰ** に動かし、エンジンがかかるまで始動動作を続けます。

#### 燃料タンクが完全に空になった場合

- ▶ 再給油後、ポンプにすでに燃料が充填されている場合でも、手動燃料ポンプを最低 6 回押してください。
- ▶ エンジン温度に合わせてチョークノブをセットします。
- ▶ エンジンを始動します。

## 11 作業中の注意事項

### 11.1 作業中

長時間のフル スロットル運転後は、しばらくの間アイドリングしてエンジンの熱を冷却風で放熱してください。これにより、エンジンに組み込まれている部品 (イグニッションやキャブレター) を熱から守ることができます。

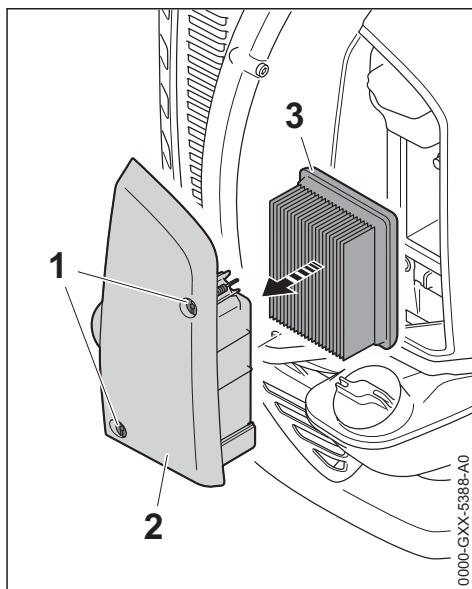
### 11.2 作業後

短期間使用しない場合: エンジンが冷えるまで待ちます。次の使用時まで、火気のない乾燥した状態で保管します。長期間にわたって使用しない場合は、「機械の保管」を参照してください。

## 12 エアフィルターの交換

エアフィルターが汚れるとエンジン出力が低下し、燃費が悪化し、始動が困難になります。

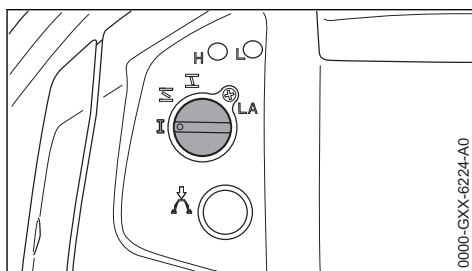
### 12.1 エンジン出力が著しく低下した場合



- ▶ スクリュー (1) を緩めます。
- ▶ フィルターカバー (2) をエアフィルター (3) と共に取り外します。
- ▶ フィルターカバーからエアフィルター (3) を取り外します。
- ▶ 汚れているか、損傷しているエアフィルター (3) は交換してください。
- ▶ 新しいエアフィルター (3) をフィルターカバー (2) に取り付けます。
- ▶ フィルターカバー (2) をエアフィルター (3) と共に位置決めします。
- ▶ スクリュー (1) を差し込み、しっかりと締め付けます。

## 13 キャブレターの調整

### 13.1 アイドリング回転数の調整



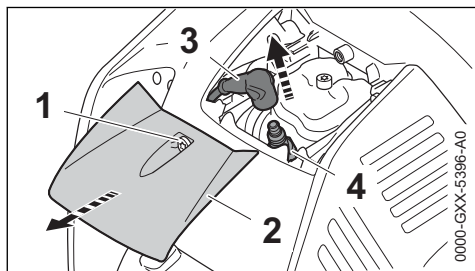
アイドリング回転中にエンジンが停止する場合:

- ▶ エンジンの運転が滑らかになるまで、アイドルリングスピード調整スクリー (LA) を時計回りにゆっくり回します。

## 14 スパーク プラグ

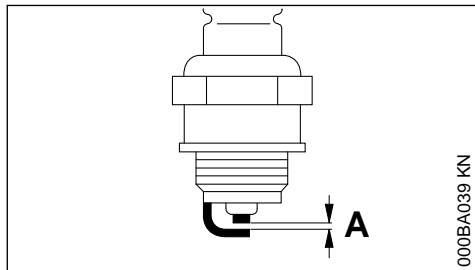
- ▶ エンジンの出力が低下したり、始動しにくくなったりアイドルリングが不安定になったら、先ずスパーク プラグを点検してください。
- ▶ 約 100 時間運転後には新品のスパークプラグと交換してください - 電極が極度に焼損している場合はそれよりも早く交換してください。スチール社が承認した、雑音防止スパークプラグのみをご使用ください - 「技術仕様」の項を参照してください。

### 14.1 スパークプラグの取り外し



- ▶ スクリュー (1) を緩めます。
- ▶ カバー (2) を取り外します。
- ▶ スパークプラグターミナル (3) を引き抜きます。
- ▶ スパークプラグ (4) を取り外します。

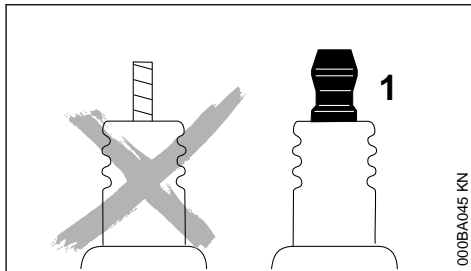
### 14.2 スパークプラグの点検



- ▶ 汚れたスパークプラグをきれいにします。
- ▶ 電極ギャップ(A)を点検して、必要な場合は調整します - 数値は「技術仕様」の項を参照してください。
- ▶ 以下のような、スパークプラグが汚れる原因を排除してください。

原因：

- エンジンオイル混合量の過多
- エアフィルター汚れ
- 劣悪な使用環境

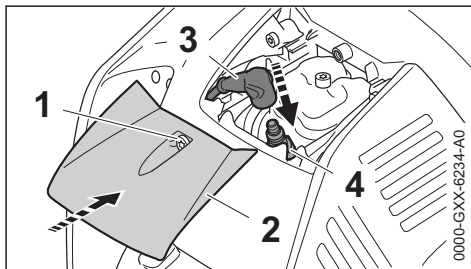


警告

アダプターナット (1) が緩んでいるか、外れている場合はアークが発生することがあります。発火または爆発が起きやすい環境下で作業を行うと、実際の火災または爆発が発生する恐れがあります。この場合、作業員が重傷を負ったり、建物に損傷を与えたりする可能性があります。

- ▶ 抵抗入タイプのスパークプラグを使用し、アダプターナットをしっかりと締め付けてください。

### 14.3 スパークプラグの取り付け



- ▶ スパークプラグ (4) をシリンダーにねじ込み、ターミナル (3) をしっかり押し込んで取り付けます。
- ▶ カバー (2) を取り付けます。
- ▶ スクリュー (1) を差し込み、締め付けます。

注記

カバー (2) を取り付けずにブロワーを使用すると、エンジンがオーバーヒートし、損傷するおそれがあります。

- ▶ ブロワーは必ずカバーを適切な位置に装着して使用してください。

## 15 機械の保管

機械を約 30 日以上使用しない場合

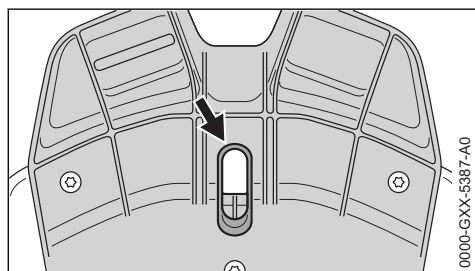
- ▶ 換気の良い場所で燃料タンクを空にし、洗浄します。

- ## 16 スチール販売店による点検と保守

▶ 燃料タンクのピックアップボディを毎年交換してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。

バックプレートの穴(矢印)を使用してブロー  
をフックに掛けることができます。



## 17 整備表

[illegible]



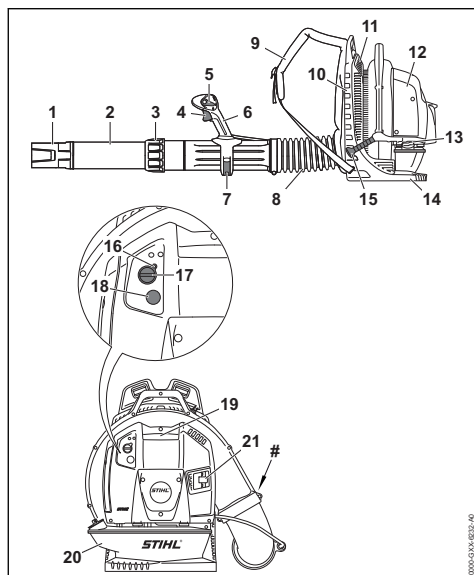
- 指定された時期に実施されなかった整備や不十分な整備(例: エアー フィルター、燃料フィルター)、不適切なキャブレターの調整または不十分な冷却空気経路の掃除(エアー吸入スリット、シリンダー フィン)が原因で生じたエンジンの損傷。
- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる本機の損傷。

## 18.2 摩耗部品

パワーツールの部品によっては、規定どおりに使用しても通常の摩耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。上記の例として、以下の部品が挙げられます:

- フィルター (エアー フィルター、燃料フィルター)
- リwind スターター
- スパーク プラグ
- 防振システムのダンパー エレメント

## 19 主要構成部品



- 1 ノズル
- 2 ブロワーチューブ
- 3 ユニオンナット
- 4 スロットルトリガー
- 5 調整レバー
- 6 コントロールハンドル

## 7 クランピングレバー

## 8 蛇腹ホース

## 9 ハーネス

## 10 バックプレート

## 11 吸気スクリーン

## 12 エアフィルター

## 13 タンクキャップ

## 14 ベースプレート

## 15 スターターグリップ

## 16 アイドリングスピード調整スクリュー (LA)

## 17 チョークノブ

## 18 手動燃料ポンプ

## 19 スパークプラグターミナル

## 20 燃料タンク

## 21 マフラー

## # 機械番号

## 20 技術仕様

### 20.1 エンジン

#### STIHL 4-MIX エンジン

排気量:	79.9 cm <sup>3</sup>
シリンダー径:	50 mm
ピストンストローク:	40.7 mm
アイドリング回転数:	2500 rpm

### 20.2 イグニッションシステム

#### 電子制御マグネットイグニッション

スパークプラグ (雑音防 止):	NGK CMR 6 H, BOSCH USR 4AC
電極ギャップ:	0.5 mm

### 20.3 燃料システム

燃料ポンプ搭載全方向ダイヤフラム式キャブレター

燃料タンク容量: 2000 cm<sup>3</sup> (2.0 l)

### 20.4 ブロワー性能

吹き出し力:	41 N
風速:	81 m/s
風量:	1700 m <sup>3</sup> /h
最大風速:	97 m/s
最大風量 (ブロワーチューブ非装着時):	2025 m <sup>3</sup> /h

### 20.5 重量

燃料なし: 11.7 kg

## 20.6 音響値・振動値

振動に関する事業主への指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、

[www.stihl.com/vib](http://www.stihl.com/vib) をご覧ください。

## 20.7 DIN EN 15503 に準拠した音圧レベル $L_{peq}$

104 dB(A)

## 20.8 DIN EN 15503 に準拠した音響出力レベル $L_w$

112 dB(A)

## 20.9 DIN EN 15503 に準拠した振動値 $a_{hv,eq}$

### 20.9.1 標準仕様

右ハンド  
ル

BR 800:

3.5 m/s<sup>2</sup>

### 20.9.2 バイクハンドル装着仕様

左ハンドル

右ハンドル

BR 800:

2.9 m/s<sup>2</sup>

2.3 m/s<sup>2</sup>

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.0 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s<sup>2</sup> です。

## 20.10 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No.1907/2006 の遵守の詳細については、以下をご覧ください。

[www.stihl.com](http://www.stihl.com)

## 20.11 排気ガス

EU 型式認定手順で測定された CO<sub>2</sub> 値は、以下に記載されています -

[www.stihl.com/co2](http://www.stihl.com/co2)

(製品ごとの技術データ)。

CO<sub>2</sub> 測定値は、代表的なエンジンを実験室の環境下で標準的な試験手順に従って測定した結果であり、特定のエンジンの性能を明示的、暗示的に保証する数値ではありません。

適用される排気ガス規制の要件は、本書に記載されている方法で機械を使用し、整備することによ

って満たされます。いかなる方法であれエンジンを改造すると、使用許可は無効になります。


## 21 整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

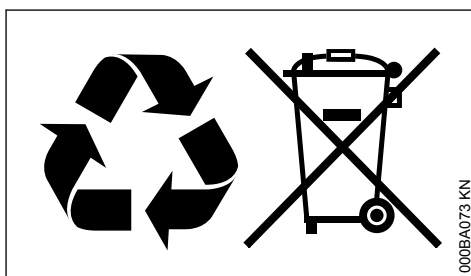
当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL** ロゴマークおよびスチール部品シンボル マーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

## 22 廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。



- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

## 23 EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Badstr. 115  
D-71336 Waiblingen



Germany (ドイツ)

は、自らの責任において下記の製品

名称: ブロワー  
 メーカー名: STIHL  
 型式: BR 800  
 シリーズ番号: BR 800 C  
 排気量: 4283  
 79.9 cm<sup>3</sup>

が、指令 2011/65/EU、2006/42/EC、  
 2014/30/EU、2000/14/EC の関連する条項に適合  
 しており、製造の時点で有効であった次の規格の  
 バージョンに準拠して開発および製造されたこ  
 とを保証いたします:

EN ISO 12100、EN 15503、EN 55012、  
 EN 61000-6-1

音響出力レベルの測定値および保証値は、ISO  
 11094 規格を適用の下、指令 2000/14/EC の付属  
 書 V に準拠して算出しています。

**音響出力レベル測定値**

110 dB(A)

**音響出力レベル保証値**

112 dB(A)

技術資料の保管場所:

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
 Produktzulassung

製品の製造年と機械番号は、機械本体に表示され  
 ています。

2021 年 7 月 15 日、Waiblingen

ANDREAS STIHL AG &amp; Co. KG

代理人



Dr. Jürgen Hoffmann

製品認可・規制部長

**24 UKCA 適合宣言**

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
 Badstr. 115  
 D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、自らの責任において下記の製品

名称: ブロワー  
 メーカー名: STIHL  
 型式: BR 800  
 シリーズ番号: BR 800 C  
 排気量: 4283  
 79.9 cm<sup>3</sup>

が、英国規則「The Restriction of the Use of  
 Certain Hazardous Substances in Electrical and  
 Electronic Equipment Regulations 2012、Supply  
 of Machinery (Safety) Regulations 2008、  
 Electromagnetic Compatibility Regulations 2016、  
 Noise Emission in the Environment by  
 Equipment for use Outdoors Regulations 2001」  
 の関連する規定に適合しており、製造日時点で有  
 効であった以下の規格のバージョンに準拠して  
 開発および製造されたことを保証いたします:

EN ISO 12100、EN 15503、EN 55012、  
 EN 61000-6-1

音響出力レベルの測定値および保証値は、ISO  
 11094 規格を適用の下、英国規則「Noise  
 Emission in the Environment by Equipment for  
 use Outdoors Regulations 2001, Schedule 8V」に  
 準拠して算出しています。

**音響出力レベル測定値**

110 dB(A)

**音響出力レベル保証値**

112 dB(A)

技術資料の保管場所:

ANDREAS STIHL AG &amp; Co. KG

製品の製造年と機械番号は、機械本体に表示され  
 ています。

2021 年 7 月 15 日、Waiblingen

ANDREAS STIHL AG &amp; Co. KG

代理人



Dr. Jürgen Hoffmann

製品認可・規制部長



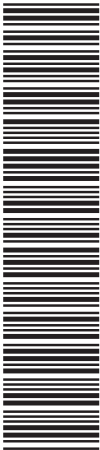




[www.stihl.com](http://www.stihl.com)



0458-490-4321-B



0458-490-4321-B